

Ⅱb の診断については、本誌でも既に 3 回目の企画である。そのたびごとにⅡb の定義が問題になった。臨床と肉眼標本と切片断面の所見が一致しないからである。胃癌の初期像という観点からは、組織発生からみればⅡb は 5 mm 以下の微小癌の中にほとんど入ってしまうし、臨床の極限を極めたいという意味からは、5 mm 以上の病変でも診断の非常に難しいⅡb あるいはⅡb に近いもの（類似Ⅱb）がある。浸潤範囲の難しいものと言え、もう 1 つ随伴Ⅱb が入ってくる。

今回の特集では、肉眼所見、切片断面所見ともかなり統一されたⅡb 病変が集められている。臨床所見も、負けずにそれなりの工夫と眼によ

って術前に捉えられている。このあたりを中心にⅡb 病変あるいは類似Ⅱb 病変と決めてもよさそうな気がする。もっと平坦なものを探すのもよいが、逆に甘いほうには厳しくしたいものである。少なくとも、臨床的にみてⅡb あるいは類似Ⅱb と言え、それだけで深達度は m でなければなら

ない。
もう 1 つは、胃底腺またはその付近の微小Ⅱb あるいはそれに近い未分化癌が探せないかである。スキルス卵の診断である。臨床からみた診断の極限を言うならば、そこが最終点であり、また胃癌の初期像に近づくだけでなく、最後に残された難問も解決されることになる。

胃と腸

5 月号（第 21 巻・第 5 号）予告

発売予定 5 月 2 日
定 価 1,700 円

主題／早期胆嚢癌—その診断の進歩

主 題	早期胆嚢癌の診断への歩みと現状……………	山口大・1 内	竹 本 忠 良
	早期胆嚢癌の定義と病理形態学的特徴……………	新潟大・1 病理	渡 辺 英 伸
	超音波断層法（US）による早期胆嚢癌の診断		
	—その可能性と限界……………	京都第 2 日赤病院	安田健治朗・他
	超音波内視鏡による早期胆嚢癌診断への期待……………	山口大・1 内	野口 隆義・他
	早期胆嚢癌の精密検査—内視鏡を中心に—……………	名大・2 内	中澤 三郎・他
	早期胆嚢癌の精密検査—ERCP をを中心に—……………	県立がんセンター新潟病院	小越 和栄・他
	早期胆嚢癌の精密検査—Angio, CT, X 線などの画像診断—……………	順大・消内	島口 晴耕・他
座談会	早期胆嚢癌—その診断の進歩……………	仙台市医療センター・内	望月 福治・他
初心者講座	早期胃癌の見つけ方（5）……………	福岡大筑紫病院	八尾 恒良・他

（編集頁の都合で掲載論文が若干変更になることがあります。）

胃 と 腸（第 21 巻 第 4 号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝雄

〒 113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 受付台（03）817-5600

本誌編集室直通（03）817-5714

販売部直通（03）817-5659

1986 年 4 月 25 日発行（毎月 25 日発行）

1 部定価 1,700 円（配送料 80 円）

年ぎめ予約購読料 19,080 円（送料弊社負担）

FAX（03）815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷（株）☎（03）813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎（03）814-5711

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1986, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となる場合がありますので御注意下さい。

（担当）窪田・長谷川・大竹